

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 京都府議会議員 **です!**



発行：2022年2月27日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目381 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

京都府知事選挙へ梶川憲 京都総評議長 立候補への決意を表明!! かじかわけんさん



4月10日投票で行われる京都府知事選挙に、京都総評議長の梶川憲さんが立候補を表明されました。コロナから命・暮らしを守るために、多くの皆さんと力を合わせて府政を変えたいと決意されました。

梶川憲さんは「保健所や土木事務所を地域に再開し、どこに住んでも感染症対策や災害対策が届く府政に変える。府が発注する仕事は自給1500円以上にする。原発は止めて、府民を守るために国に対して行動する。北陸新幹線計画はストップする。北山エリアのまち壊し計画は中止する。」そして、「女性の副知事を実現する。」と重点プランを発表しました。

今の知事は国土交通省の官僚出身ですから、北陸新幹線計画や北山エリア計画など国の言いなりで住民の意見を聞こうとしません。また、府政が変われば京都市政にも大きな影響が出ます。京都市政を変えるためにも知事選挙は重要です。梶川知事を実現しましょう!



子ども若者はぐくみ局長が収賄罪で逮捕 副市長に申し入れ

前代未聞の局長逮捕と言う事件が起こりました。保育園の監査に関わって賄賂を受け取っていたという事です。この局長は、

保育園の補助金カットや児童館学童保育の利用料値上げなど、市長とともに市民負担を進めてきた人物です。市長は第三者機関をつくって真相解明をしますが、市役所内の関係者だけでは真

相解明はできません。外部からの委員も入れるべきです。そして、この事態ですから、市民負担増の補助金カットなどは白紙に戻すべきです。市議会議員団として、議員団代表が岡田副市長に「市役所外部の第三者機関の設置と行財政改革計画の具体化を中止すること」を求めました。



「くらしと仕事を支援する予算への組み替えを」(団長談話)

日本共産党市議会議員団は、提案された来年度予算案に対して、団長談話を発表しました。主な内容は、「長引くコロナ禍で市民生活の厳しさが増しているにも関わらず、あらゆる市民負担の押し付けと、暮らしを支えてきた補助金を大幅にカットする予算となっています。国民健康保険料や敬老乗車証の負担金、138施設の利用料、証明書発行等の手数料の値上げなど、市民負担増の総額は25億円にも上ります。また、保育園職員の賃金を底上げするための補助金をはじめとした様々な補助金も大幅にカットしようとしています。

さらに、来年度以降も、53施設の利用料の値上げや、市バス・地下鉄運賃の値上げも計画されています。これらの負担増を行ってもなお、来年度も117億円の「収支不足」としてありますが、ここには大きなゴマカシがあります。

予算案と同時に発表されたのが、今年度(2021年度)の収入見込みで、昨年の予算編成時よりも200億円多いというものです。これを来年度予算で活用すれば、「行財政改革計画」の具体化である負担増や制度改悪など必要ありません。さらに、「500億円の財源不足」で「財政が破たんする」としていた前提が崩れていますから、「行財政改革計画」そのものを撤回すべきです。

困ったときは... **日本共産党の** 生活相談所へ

毎週月・水・金曜 午前10時から 午後5時

まずはお電話ください!!

(075) **621-6717**